



2006 年度第 8 号

やまなみ

サンフランシスコ日本語補習校
理事会通信

理事長からの年頭の挨拶

(村山理事長)

あけましておめでとうございます。みなさん、よいお年をお迎えられましたでしょうか。補習校は2週間の冬休みを経て先週再開。今年もまた補習校の運営にみなさんのご協力をお願いいたします。

補習校の運営はここ数年二つの大きな目標を持って進めてきました。一つは派遣の教員の数に5人から3人へ減るのを見込み、現地採用の教員で基本的に運営ができる組織を作りました。これにより文科省が規定する派遣教員の本来業務である教員への研修、カリキュラム作りなど教育面での仕事に専念することができるようになりました。新たに主幹をSF、SJそれぞれ小、中・高に1名ずつ採用し、その下に各主任を配置してかなり形ができてきました。

もう一つは昨年の将来像委員会で保護者の皆さんの意見をまとめ、これからの補習校のあるべき姿が提言されましたので、その具体化への取り組みです。昨年度「やまなみ」9号で報告された12の提言のうち、学校基本方針の改訂、単位取得への資料作り、放課後クラブの試行、全国標準テスト・帰国子女受け入れ高説明会・保護者協力による漢字検定などが実現し、幼稚部設置への検討も2008年度の開始を目指して進めています。経営・運営の安定化とJCCNCとの関係強化を目的として学校定款の改訂も準備中です。

今月の大きな動きは二つあります。別紙にあります通り、現地採用教員を中心とした安定した体制作りと保護者からの希望をもとに、理・社を合科とし、5時限の授業とすることに変更します。大きな理由は文科省の指導要領での理科の実験重視への流れです。一方理・社を教えている補習校は少なく、週1時間で科目をカバーすることは明らかに無理ですので、むしろ日本語の語彙力を総合的に育てる目的の一環としての理・社という位置づけをはっきりして取り組もうということです。更に現地校・クラブ等との両立を助け、一方教員の研修を定期的を持つ時間が生まれることで教育の質の向上を狙っています。慢性的な教員不足の解消にもなります。

二つ目は授業料の値上げです。新体制導入により人件費等が一割程度増加したこと、昨年度の一割弱の生徒数減少で今年度予算は二割の赤字を見込んでいました。このままでは五年間で補習校の全資金を食いつぶすことになってしまいます。一方 Bay Area の私立学校では物価上昇に伴い年間5パーセント程度の値上げが普通です。人件費・生徒数減少・物価上昇を考えると5時限が6時限に減ってなおかつ10パーセント程度の値上げは避けられないことがわかりました。ご

理解をお願いいたします。

ここ数年で保護者会、理事会、事務局と派遣教員で一体となって学校を作っていくという流れが強くなり、補習校の改善・発展に取り組んでいくことができるようになってきました。今後も皆様の更なるご支援、ご協力をお願いいたします。

第5回理事会

(喜多理事)

12月7日に今年度第5回理事会が持たれました。岩崎校長からの学事報告の後、北村保護者会代表会長より、来年度の各役員、委員の募集、選出方法を含んだ活動報告がありました。以下審議事項と内容です。

(1) 図書活動経費の学校負担について

図書は補習校の大切な財産であり、それを保持、運営するために発生する経費は学校が負担すべきである事が確認されました。今後は経費処理のあり方を明確にし、備品購入などの実際を改めて周知する事で意見が一致しました。

(2) 標準学力検査について

今年度初めて実施された「全国標準学力検査 NRT」を来年度からも定期的にも実施する提案が出され承認されました。これは児童、生徒の学力を定点観測する上で効果的であり、習熟度を日本のものと比較できる貴重な機会である事から、今後も進んで実施して行く方向で意見が一致しました。

(3) 教員募集について

現地メディアを通して募集を掛けてはいるものの反応は芳しくなく、今後募集方法を含む早急な対策が必要である事が指摘され、校長、役員の間でもう一度検討される事となりました。

(4) 健康調査票について

岩崎校長と、学校医でもある小林理事の間で調整されてきた入学前健康調査票の内容が確認され、承認されました。これは視力、聴力を始めとする基本的な内容から既往症までを入学前に申告してもらうもので、日本の学校保健法に準じて実施するものです。

(5) 事務局移転に関して

北村理事から事務局移転に関する中間報告がありました。移転推進委員会からの有識者を介したミーティングの結果を踏まえ、今後の進め方について討議されました。現時点では予想されていた程の経済的効果を得る事は簡単ではなく、移転条件の再検討と現状維持の両面から今一度移転推進委員会にて話し合うよう理事長から要請があり、了承されました。

(6) システム委員会からの報告

長岡前理事からの活動報告を頂きました。データベ

ースシステムのメンテナンスに関し、今後どのような形でサポートして頂くかを提案頂く事が報告されました。

データベース・メンテナンスに関する報告 (喜多理事)

補習校データベースが本格運用され、各方面で作業効率化や利便性が上がっていますが、今回、理事会では今までボランティアとしてメンテナンスをお願いしていた元理事の長岡氏と正式に契約を交わし、今後、より安定したサービスを提供して頂ける様話しを進めております。具体的には、全米の他の補習校と図書システム、データベースシステムをシェアし、より良い機能の実現や、より一層の作業効率化をはかる事を目的とした法人と契約すると言うものです。そうする事により、今後サンフランシスコ日本語補習校は、新たなサービスの享受者として、またそのコアとして位置することが可能となります。すでに導入され成果を挙げている点としては、緊急の際の一斉同報送信機能や、毎週出される事務局からの“お知らせ”がボランティアの方々に自動的に送られるようになった事等があり、現在データベースにログイン後、図書の検索を可能にする事も検討しています。今後も皆さんからの意見を取り入れ、より良い改良を施して行く予定です。

借用校訪問

12月13日、安栄教頭、木下教頭、牛島主幹、デイシー主幹、事務局長、保護者会から渡部 SF 会長が、サンフランシスコ校の借用校である Giannini 校と Hoover 校を訪問しました。また翌14日には、学校長、西村教頭、城田主幹、事務局長、保護者会からフライバーグ会計がサンノゼ校の借用校である Cupertino 校と Kennedy 校を訪問しました。各校において平成19年4月から集中学習前までの契約を済ませました。この訪問は恒例のホリデーシーズン挨拶も兼ねており、補習校から借用校校長先生及びスタッフへのギフトを手渡し、保護者会から借用教室の担任教員宛にギフトカードが贈られました。

人事異動

採用 中・高S J 教員 長谷川 篤子(10月21日付)
 採用 中・高S J 教員 池田 浩子(11月11日付)
 退職 小S F 教員 ニルソン 香織(12月16日付)
 採用 小S F 教員 長井 類子(1月6日付)
 休職 小S J 教員 ゴールド 和子(12月16日付)
 採用 小S J 教員 稲葉 千草(1月6日付)
 退職 小S F 用務 大嶺 明(12月16日付)
 採用 小S F 用務 猪股 雄介(1月6日付)
 退職 中・高S J 用務 吉沢 まどか(12月16日付)
 採用 中・高S J 用務 村上 麻美(1月6日付)

事務局よりお知らせ

1月、2月の主な行事予定

月	日	行事予定
1	13	小学部 SF 校入学説明会
1	20	小学部 SJ 校入学説明会
1	27	小学部新1年生面接 (SF 校、SJ 校)
2	3	小学部新1年生面接 (SJ 校)

平成19年度新1年生の入学受付について

サンフランシスコ日本語補習校では、平成19(2007)年4月から小学部1年生に入学を希望する児童についての入学願書受付を12月1日から開始いたしました。入学を申し込まれる方は、本校事務局までご連絡ください(415-989-4535)。

【出願資格】

保護者が当地での職務に派遣される者、または、理事会が承認する者で、将来日本の学校に入学・編入しようとする計画を持っている者のうち、平成12年(2000年)4月2日から平成13年(2001年)4月1日までに出生した児童に限ります。

【学校説明会】

入学希望児童及び保護者を対象として、入学説明会と新入生面接を次の通り実施いたします。

小学部サンフランシスコ校	小学部サンノゼ校
入学説明会 1月13日(土)	学校説明会 1月20日(土)
新入生面接 1月27日(土)	新入生面接 1月27日(土) 2月3日(土)

【面接内容】

- (1) 自分の名前を言え、ひらがなで書ける。
- (2) ひらがなが読め、その言葉が絵と結びつく。
- (3) 日本語で意思の疎通が図れる。
- (4) 教師の指示が聞き取れ、それに従える。
- (5) 学校において自らの力で活動できる。
- (6) 面接時間中(15分程度)姿勢良く座席に座り、教師の話を聞くことができる。

【入学申し込み方法】

入学申込書、入学前健康調査票、出生を証明できる書類(パスポートのコピー等)を本校事務局までご送付ください。なお、説明会と面接の案内につきましては、入学を申し込まれた方に郵送にて通知いたします。本校ホームページ(<http://sfjlc.org>)をご参照下さい。

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により月1回発行されます。
 発行人：村山 斉
 San Francisco Japanese Language Class, Inc.
 760 Market Street, #816, San Francisco, CA 94102
 電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542
 電子メール：理事会・事務局 office@sfjlc.com、学校 sfjlc@msn.com
 ホームページ：http://sfjlc.org
 理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。匿名でのお問い合わせ等には一切お答えいたしかねます。
 無断複製・転載を禁ずる。©2007 All rights reserved.